

藤和けんこう通信



2018年3月号 VOL.89

2018介護報酬改定情報

発行元：藤和ビジョン株式会社（訪問マッサージ・はりきゅう/エステ/転倒予防トレーニング）
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482 二俣川院045-442-5439 青葉台院045-508-9560

2018介護報酬改定情報ピックアップ

～全体としては0.54%増～

参考:介護ロボットONLINE、みんなの介護ニュース

機能訓練指導員の資格をはり・きゅう師でも取得可能に

半年以上の実務経験を持つはり師・きゅう師が
デイサービスや特養、認知症デイにおける機能
訓練指導員の資格を得られるように要件が緩
和される見通し

現在、機能訓練指導員も人手不足であり、このま
まではリハビリをして在宅復帰してもらうという
施設における本来の役割が果たせなくなってしまう
ことを懸念して、要件を緩和していく形となる。

ターミナルケア・看取りを評価

認知症対応型共同生活介護では、医療連携体制加算が改定されます。これまでの医療連携体制加算に加えて、看護職員や看護師をより手厚く配置したり、たんの吸引などの医療ケアを提供したりする施設に対して新たにII、IIIとして加算を設けます。

特定施設入居者生活介護では、これまで特に医療ニーズに対応した際の加算は設けられていませんでしたが、今回新たに2つの加算が新設されます。

- ①入居継続支援加算は、たんの吸引などのケア提供を評価します。
- ②退院・退所時連携加算は、医療提供施設の退院・退所時の連携を評価します。

居宅介護支援では、末期の悪性腫瘍と診断された利用者に対して、ターミナル期において通常より頻回に訪問したり、利用者の状態を医師や事業者へ提供した場合、それを評価するターミナルケアマネジメント加算が新たに設けられます。

何事も思いやりを持って対応します！



施設ご入居者様へ 訪問エステのご案内！

プロの女性エステティシャンが施術します！



☆☆☆いつまでも、美しく☆☆☆

☆☆☆美肌効果☆☆☆

☆☆☆癒し効果☆☆☆



ショートコース 1施設4名様以上でお伺いします

15分コース/1750円(税込・出張料込)



ロングコース 1施設1名様からお伺いします

50分コース/7560円(税込・出張料込)

訪問範囲

横浜市・川崎市・相模原市・大和市・座間市・海老名市
綾瀬市・厚木市・藤沢市・町田市・多摩市・八王子市の
各介護施設等

時間:9:00~17:00

曜日:日曜定休



予約制  0120-900-894

【訪問エステ】藤和エステサービス 運営:藤和ビジョン株式会社

時間:9:00~17:00 曜日:日曜定休 本社:相模原市南区南台4-13-23

医療と介護の連携を強化

居宅介護支援の変更

- ①入院時情報連携加算の取得条件の変更。情報提供の期間が入院後7日から3日以内になるかわりに、提供方法は問わないという変更がなされました。
- ②退院・退所加算の単位です。連携回数に応じた評価、およびカンファレンスに参加した場合の上乗せ評価がなされます。

訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションは見直しあり

- ①面積や人員の要件を緩和
- ②リハ計画書の様式を互換性のもったものにする ことが見直されています。

認知症の人への対応を評価

看護職員の配置が手厚いグループホームを評価する

ショートステイ・小多機でも認知症の人に対応すると加算される など

認知症対応型共同生活介護では、医療連携体制加算が強化されます。Ⅰ～Ⅲに分けられ、Ⅱ～Ⅲではより手厚く看護師・看護職員を配置した場合を評価します

～鹿沼公園～

～デイダラボッチゆかりの自然公園～

ジブリ映画「もののけ姫」にも登場した巨人デイダラボッチ。日本各地にゆかりのスポットはありますが、この「鹿沼公園」もその一つ。デイダラボッチが歩いた跡にアシが生い茂って沼地となったといいつたえられており、その地を造成して誕生しました。

約470株のアジサイや桜に囲まれた白鳥池には、数羽のコブハクチョウがおり、毎年4月の桜、5月から6月のアジサイの花期には、多くの人を訪れる花の名所としても知られ、ゴーカートや豆自動車など交通ルールを学びながら遊べる児童交通公園も人気です。世代を問わずに楽しめる、市民の憩いの場として親しまれています。





人工透析、診療報酬を引き下げ…厚労省が改定方針

(2018年2月1日読売新聞)

厚生労働省は2018年度の診療報酬改定で、人工透析で医療機関が得る報酬を削減する方針を決めた。多くの患者を治療する大規模施設の報酬を重点的に引き下げる。透析を受ける患者は約33万人(16年)に増えており、約1.6兆円に上る医療費の抑制を図る。人工透析は機能が落ちた腎臓の代わりに機器を使って、血液中の老廃物や余分な水分を取り除く治療法。一般的に1回で4時間受ける。現行では1人に年約500万円の医療費がかかる。今回の報酬改定では、多くの透析用の機器を持ち、多数の患者を治療する医療機関の報酬を主に下げる。厚労省によると、20~60台の透析用の機器を持つ施設が大勢を占める中で、120台以上の機器を保有し、1日当たりの患者数が非常に多い医療機関もある。一方、透析に至らないように患者に働きかける重症化予防に力を入れる。糖尿病が原因で腎機能が低下した患者に対する医師の運動指導の対象を、透析を受ける直前の重症患者から、中等度の患者に広げる。患者団体の全国腎臓病協議会は「報酬引き下げが、医療機関の経費削減などによる透析医療の質の低下を招かないようにしてほしい」としている。

凍死 熱中症死の1.5倍 年間1000人超、屋内要注意

(2018年2月12日毎日新聞)

冬は屋内での凍死にご用心。熱中症の危険性は広く知られているが、低体温症による死亡(凍死)の方が、死者数は1.5倍にも上っている。2010年以降はほぼ毎年、1000人以上が犠牲となっており、大半は高齢者。室内で低体温症に陥った例が多く、背景に孤立や貧困もあるとみられる。専門家は調査や対策の必要性を訴えている。冷え込みが厳しくなった1月末、東京都板橋区にある帝京大病院の高度救命救急センターに、意識のない80代の女性が運び込まれた。体の深部の温度が26度まで下がったショック状態。独居で認知症の症状があり、近所の人々が自宅を訪ねると意識がもうろうとしていたため、救急搬送された。「低体温症に陥るお年寄りの典型例。似た状況の人が連日のように搬送されてくる」と、同病院の三宅康史教授(救急医学)は明かした。低体温症は、寒さで体の熱が奪われ、体の深部が35度以下になって全身に障害が起きる症状。重症化すると凍死する場合がある。厚生労働省の人口動態統計によると、00~16年の国内の凍死者は計約1万6000人で、熱中症の1.5倍に上る。

インフル猛威、新薬発売へ

(2018年2月12日毎日新聞)

インフルエンザが猛威を振るう中、製薬各社が治療薬やワクチンの供給強化に向けた取り組みを進めている。塩野義製薬は従来よりも少ない服用回数で治療できる新薬の今春からの販売を目指す。化学及血清療法研究所(熊本市)はワクチンの製造期間の短縮方法を研究中だ。塩野義は新薬「ゾフルーザ」を開発した。1日2回、5日間服用が必要な既存薬のタミフルと比べ、錠剤を1回飲むだけで効果が期待できる。昨年10月に厚生労働省に製造販売承認を申請し、近く承認される見通しだ。優れた新薬を世界に先駆けて実用化するために迅速に審査する「先駆け審査指定制度」の認定を受けていた。広報担当者は「画期的な新薬として期待されている」と話す。販売されれば、流行に歯止めをかける役に立ちそうだ。化血研は鶏卵を使わずに季節性のインフルエンザワクチンを量産する手法を研究している。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

TOWA
藤和

とうわ
藤和マッサージ

【訪問マッサージ・はりきゅう】

相模原院 ☎042-855-0420

町田院 ☎042-851-7528

海老名院 ☎046-204-5482

二俣川院 ☎045-442-5439

青葉台院 ☎045-508-9560

相模原市南区南台4-13-23-1階

町田市森野4-17-23-2階-B

海老名市中央3-3-13-202

横浜市旭区二俣川1-32-100

横浜市青葉区榎が丘14-3-205

エステ・転倒予防トレーニング ☎0120-900-894